

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

東京社保協ニュース

新年賀謹

新しい年を迎えるに当たり
新年のご挨拶を申し上げます
2013年 元旦

東京社会保障推進協議会
会長 竹崎 三立



会が躍進、石原都政を引き継ぐ猪瀬氏が当選しました。国民の願いを踏みにじって迷走した民主党は大敗北に終わりました。

景気回復を期待し、雇用拡大を望む国民の想いが民主党政権に失望し、自民党保守政権へ回帰したのと思われまます。しかし戦後最低の投票率に終わった衆議院選挙は国民の政治への幻滅を表しています。

実質経済成長2%以上の付帯条件はあるものの来年秋には、消費税増税が待ち構えています。また安倍自民党や石原維新の会は憲法改悪を公言しています。景気回復を期待するあまり平和と社会保障を犠牲にする選択は今後に大きな禍根を残す結果となります。

選挙結果に落ち込んでいる暇はありません。日本を再生させるためには、社会保障を充実し、内需を拡大し雇用を創出し、安心して暮らせる社会をつくることです。そのためにも私たちの運動の拡大・成果が求められます。焦らず落ち込まず着実に運動を広げて東京社保協の存在がもつと都民に知られ受け入れられるよう頑張っていきましょう。



怒りの座り込み

弱い者いじめはやめよ

都老協・全国老地連

総選挙・都知事選挙の結果がでた12月17日より、高齢者要求実現をめざす「昼夜通して48時間」の座り込みを厚労省前で行いました。選挙の結果は、私たちにとっては厳しい結果であり、とても重いものでもありました。しかし、だれが権力の座に座っても、私たちは人間としての権利、生きていく当然の権利、これは憲法に保障されていると胸をはって13時より座り込み宣言を確認しあい、17項目にわたる要求書を次期予算に反映するよう厚労省あてに提出しました。

初日は
水雨、2
日目は風
と寒さと
騒音に悩
まされま
した。そ



んな中、涙ながらの生活相談にみえる方、高齢者が何故座り込んでいるのかと話しかけ励ましてくれる方、カイクを差し入れてくれる自らマイクを握り応援してくれた青年、足早にご苦労さまとカンパ箱に手をさしのべる方、ほんとに感謝感謝で忘れることはありません。



社保協をはじめ、多くの団体・労働組合の皆さんに支えられ励まされながら連帯したたかいたを進めることの大切さをしっかりと受け止めています。田村智子参議院議員、日本共産党の小池晃さん、参議院予定候補吉良よし子さん、大山とも子都議会議員さんも共に座り込み、連帯の挨拶をいただきました。(東京都老後保障推進協会・坂本光治)

相談会・学習会・自治体要請など旺盛に

権利としての生活保護を守り豊島

11月28日(水)、豊島区民センターに於いて、第15回豊島区社保協総会が開催され全体で48人が参加しました。三上満会長の挨拶で始まり、東京社保協の寺川慎二事務局次長より連帯の挨拶がありました。

記念講演では、東京都生活と健康を守る会連合会会長の坂口忠男氏による講演がありました。講演では「権利としての生活保護」と題して政府が



行おうとしている生活保護基準の見直し(改悪)と現状の生活保護の実態・問題点をわかりやすく説明して頂きました。私たちがこうした内容を学習し広く仲間知らせ、請願や陳情などの運動を強化していくことが改悪に歯止めをかけることにつながるかと強調されました。

総会では、森とおる共産党豊島区議から、豊島区での生活保護世帯が急増していることと国民健康保険料の値上げが区民の生活に深刻な問題をあたえていることが報告されました。討論では各団体より現状と「社会保障と税の一体改革」反対の取り組みと方針が報告されました。最後に次年度の運動方針案と新役員が提起され、拍手により採択されました。(事務局・川合正人)

地域に根付いた相談会に発展を



「高齢者が一人暮らしができるアパートを紹介して欲しい」「いじめ問題でひとことい

いたい。ドフトエフスキーもこうしたい。ドの一部分です。12月19日は、外気温7度のなかでの相談会となりました。

「高年齢者が一人暮らしができるアパートを紹介して欲しい」「いじめ問題でひとことい... 言っている」「建築業を半年前にクビになり生保受給中だが共同住宅で盗難相次ぎ、何とか一人でアパートに住みたいのだが」「高齢で一人暮らし。以前入院時、友達に保証人になってもらって大変に迷惑をかけた。公的な保証人制度を教えてください」。6回目となる渋谷社保協「無料なんでも相談会」の相談内容も相談会」の相談内容

「孤立死」を懸念 市に要望書を提出

日野社保協

10月7日「孤立死を考える懇談会」を開きました。市内ではここ数年、孤立死が年40〜50件起きています。孤立死を防ぐために行政や市民に求められている課題について意見や活動を交流するために開いたもの。団地自

治会や市民団体の代表ら38人が参加しました。懇談会では、高齢者の居場所づくりとしての「ふれあいサロン」の運営や自治会として居住者の緊急連絡先を把握する取り組みをはじめ、経験などが紹介されました。市に対して見守り体制の拡充や「緊急通報システム」の確立を求める声などが出されました。

参加者から「様々な団体の取り組みが聞けてとても良かった」などの感想が寄せられました。社保協は、懇談会および事前アンケートに寄せられた意見をふまえて11月22日、市長あてに「孤立死をふせぐ対策についての意見と要望書」を提出しました。



「推進法」の狙い学び 社保協運動の強化へ



10人以上アルバイト生
活をしている40代男性は
2〜3週間前から左足首
から先に力が入らなくな
ったと相談に訪れまし
た。また、足が腫れて痛
みがある」と相談に訪れた
60代男性は蜂窩織炎（ほ
うかしきえん）の疑いが
あると共立診療科外来
に誘導。30代男性は給与
減額とパワハラの相談で
弁護士が対応しました。
「前回相談ののって頂い
て本当に助かりました」
とあいさつにきた女性も
いました。

今回は医学生多数のお
手伝いもありました。参
加スタッフは15人+東京
民医連職員2人
+医学生4人
+浦野区議+
鳥飼弁護士で
した。相談件
数は血圧測定
含めて10人で
した。次回は
1月23日に開
催します。
（事務局長・
塚本晴彦）

**テントで快適空間
医学生も相談員体験
中野**



推進法の狙いを学習 品川

品川社保協は2013年度の総会を11月27日に行い、各団体から57人が参加しました。総会は国保料の区議会請願、「社会保障と税の一体改革」反対の街頭宣伝のとりくみなどについて

その後、記念講演として、「社会保障制度改革推進法の問題点」について、東京社保協事務局長の前沢淑子氏に講演していただきました。前沢氏は、「社会保障制度改革推進法」は社会保障制度「解体法」であり、社会保障の強化ではなく、消費税の増税と社会保障費の伸び率の抑制の両方をすすめることに、社会保障に「自助」「共助」を持ち込み、国・自治体の負担を軽減する、消費税を社会保障の目的税にする、能力に応じた「再配分」を否定し、負担しないものに、給付しない、社会保障分野の個別立法を政権に関係なく縛るもの、生活保護の基準の引き下げなどの見直しを行なう、などこの「推進法」の問題点をわかりやすく話されました。

東京の医療・福祉の状況の低下にもふれながら、今後の運動の課題も提起していただき、これからの社保協活動に大いに役立つお話を聞かせていただきました。（事務局長・阿部隆司）



渋谷で新春宣伝

1月8日12時半から渋谷社保協と消費税各界連で8団体16人が参加して宣伝行動。署名18筆、300のビラ配布でした。

福井会長は障害者自立支援、区の福祉施策を訴えました。

立ち止まって耳を傾ける若者、「がんばってください」「温かな日和でよかったね」と激励する高齢者など元気をもらいました。



厚労省、経産省、東京都に要請
「電気代等の滞納者が貧困

厚労省、経産省、東京都に要請
「餓死・孤立死の根絶と極寒期の緊急対策を
寒さ厳しい11月末、札幌市東区、石川県志賀町で生活困窮から電気料金などの滞納でライフラインが止められ死に至る事件が相次ぎました。この事態を看過できないと12月12日、中央社保協、全生連とともに厚生労働省、経済産業省に対し、餓死・孤立死の根絶対策を求め緊急要請を行いました。内容は、①事件の原因の究明と公表、②餓死・孤立死の根絶へ抜本的対策の確立と厳寒期の緊急対策です。厚労省は「悲惨な事件が相次ぐのは大変残念」としながら、「対応する部局がライフラインの打ち切りは慎重に対応するよう各自治体に通知を出してきた。自治体の対応が基本なので、取り組み状況や施策等の広報に努めている」。

「電気代等の滞納者が貧困

困窮者とは限らない状況もあり対策は難しい。福祉部局等との連携を引き続き行うしかない」と対応し、極寒期対応は、従来の通知や対応を繰り返すのみでした。参加者からは「年末年始は対応窓口も閉まる。緊急対策を考えるべき」「電気やガス、水道などの滞納状況について把握することが第一。早急に調査してほしい」と餓死・孤立死を根絶する対策と、極寒期の緊急対応を改めて求めました。翌13日は、東京都知事と福祉保健局に対し都生連とともに同様の申し入れを行いました。西多摩・日野・町田社保協なども同様の申し入れを行いました。

餓死・孤立死問題など市と懇談・要請

1月7日に町田社保協と町田生活と健康を守る会は「餓死・孤立死対策の強化、福祉事務所窓口への警察官OB配置中止、国保の資格

「不当要求者・暴力団関係者に対応するため11年4月から配置」でした。警察官OBの配置は全国的にも早い時期から配置されていることが解りました。引き続き要請していきます。

市からは、「過去において児童を含む家庭の餓死や孤立死の発生はなく、その他についても統計データは全く把握していない」「滞納者に連絡、訪問もし対応、資格書発行数2400から800減らした」

生活保護基準引下げ STOP



1月24日(木) 午後1時半開会
東京土建 西東京支部会館
(西武柳沢駅北口から徒歩12分)

写真は12月12日板橋での学習会

第43回東京社保協総会

加盟各団体から2人参加を

日時 2013年1月31日(木) 11:00~16:30

内容 ○2012年度総括、決算
○2013年度方針、予算、役員体制など

会場 けんせつプラザ東京



10時から学習会開催

無料 学習会のみ参加も歓迎!



選挙後の情勢 どう見るか
渡辺 治 一橋大学 名誉教授